



市立大学SCU

地域魅力拡散し隊

ど〇でもドアが豊田町に?!



私たちは豊田町にある豊田湖畔公園と道の駅を訪れました。

豊田湖畔公園は、広いオートキャンプ場や子どもたちが全力で遊べる大型遊具が完備されています。また、例年12月から3月中旬ごろまでは、「冬の妖精」と称されるワカサギ釣りもすることができます。今回は残念ながら水位低下の影響でワカサギ釣りはできませんでしたが、**釣り以外でも存分に自然を満喫でき、年齢関係なく多くの方が楽しめる場所**でした。 **1 2**

道の駅「蛸街道西ノ市」では**美肌の湯として知られる温泉でリラックス**できるほか、歴史ある「長門鉄道101号機」が展示され、101号機の歴史を学んだり、当時の石炭も間近で見ることができます！しかも驚くべきことに、あの有名なアニメの道具も設置されていました。 **3 4**

今回紹介した場所以外にも魅力的な場所がたくさんあるので、ぜひアニメの道具と写真を撮りに、癒やされに、遊びに、豊田町を訪れてみてください！



FUJIMOTO TAKASHI

藤本 隆志 隊員(ふじもと たかし)

令和7年11月に地域おこし協力隊に着任。イラストやデザインを軸に活動し、下関市メインキャラクター「せきまる」の原作者として、グッズ制作や活用提案などにも取り組む。創作を通じて地域の魅力発信に挑戦中。

せきまる発・デジタルで広がる地域の未来

これまでの創作経験を生かして地元で貢献したいと考え、Uターンで地域おこし協力隊に着任しました。地域イベントの企画運営や広報物制作に取り組み、キャラクターやビジュアルを活用した発信を行ってきました。イベント会場で「せきまる」に手を振る子どもたちの笑顔を見たとき、創作が地域の中で息づいていることを実感しました。

今後は、「せきまる」を軸としたデジタルコンテンツの展開を進めるとともに、地域の中でデジタル制作や発信に関わる環境づくりに取り組みます。また、個人の発信にとどまるのではなく、地域全体でデジタル分野に関わる人が自然と増えていく土壌を育てていきたいと考えています。



下関市地域おこし協力隊員は11人です(3月13日現在)